

Press release

報道関係者各位



平成 25 年 12 月 2 日

技術研究組合制御システムセキュリティセンター

CSSC、欧州の重要インフラのサイバーセキュリティ推進組織 ENCS と協力覚書を締結
～グローバルな連携で重要インフラのセキュリティ向上を目指す～

技術研究組合制御システムセキュリティセンター（略称：CSSC、理事長：新 誠一）は、2013 年 12 月 2 日、オランダ ハーグ拠点の非営利組織 ENCS (European Network for Cyber Security) と重要インフラと制御システムのサイバーセキュリティ対策の強化を目的とした相互協力について覚書を締結しました。

今回の協力覚書締結については、CSSC および ENCS のウェブサイトで公表します。

- ・ CSSC サイト URL : <http://www.css-center.or.jp>
- ・ ENCS サイト URL : <https://www.encs.eu/> （日本時間 12 月 3 日公開予定）

■ ENCS との相互協力の内容

CSSC は、重要インフラのセキュリティ確保を主眼において、制御システムのセキュリティ強化を目的とした活動をしています。グローバルな重要インフラに対するサイバー攻撃対策は一国だけでは対応できません。そこで経済産業省と米国 DHS との覚書のもとに、CSSC は日米での重要インフラと制御システムのセキュリティ対策での連携を進めていました。今回欧州の ENCS と協力覚書を結び、さらに日欧での重要インフラと制御システムのサイバー攻撃へのレジリエンス（頑丈さ、しなやかさ）とセキュリティ確保で連携を進めていくことになりました。

ENCS (<https://www.encs.eu/>) は、欧州の重要インフラのレジリエンスを高めることをミッションとするメンバによる非営利の組織です。スマートグリッドのセキュリティ確保を当初の目的として、ENCS は研究・開発、テストングとトレーニング等の活動を推進しています。また、産官学の国際パートナーとの連携をしています。

最近の活動では、サイバー攻撃から制御システムとスマートグリッドを守るためのトレーニング[The ENCS Advanced Cyber Security Course]を 11 月 25 日から 29 日までハーグ市で実施しました。本トレーニングには CSSC から参加しました。

相互協力の内容を以下に示します。

- ・ 制御システムのセキュリティ対策の高度化を目指した研究・開発
- ・ 制御システム向けのセキュリティ人材育成のトレーニングの共有
- ・ 評価や認証に係る情報の共有
- ・ 情報共有と普及啓発活動での連携

CSSC は、「セキュアな制御システムを世界へ未来へ」を目標に、日本の重要インフラのセキュリティ向上と日本の制御システムベンダの輸出力向上を目指して今後も活動を進めていきます。

■ 取材申し込み・お問い合わせ先：技術研究組合制御システムセキュリティセンター

東北多賀城本部 TEL : 022-353-6751 (小山田)

メール : cssc-sec@css-center.or.jp Web サイト : <http://www.css-center.or.jp>